

# 1年間の取組み

## 1 女性活躍推進への主な取組み

- (1) 経営戦略としてダイバーシティ&インクルージョンを推進し、トップダウンとボトムアップの両輪で「意識・風土改革」「能力開発体系の充実」「ワーク・ライフ・バランスの推進」に取り組めました。
- (2) 結果、2018年4月女性管理職比率目標25%に対し、24.2%を達成（2017年4月時点）し、女性リーダー育成を着実に推進しました。現在、内部登用執行役員2名を始め、現在5名の女性役員、873名の女性管理職が活躍しています。
- (3) 成長戦略として「働き方改革（ワーク・スマート）」を推進し、従来とは異なる次元での「組織・個人の生産性」の向上と、全社員が健康で生き活きと前向きに働ける職場環境の構築に取り組んでいます。

## 2 ムーブメント拡大のために

- (1) 「地域との結びつき推進」として、神奈川県との包括連携協定等全47都道府県と連携協定を締結し、地域の課題解決に向けて、がん啓発、高齢者見守り活動、女性活躍推進、子育て支援、警察との防犯・交通安全見守り等自治体等との協働を進めました。
- (2) 県内企業83社で働く女性計153名を集め、同じ応援団企業から講師を招いた女性活躍推進セミナー（県・横浜銀行が後援）を主催し、自らのキャリアアップ等をテーマにした啓発活動を行いました（2017年7月）。
- (3) 保育所入所待機児童問題の解消に向け、当社保有ビルを有効活用し、全国待機児童数の約1割に相当する2,500名の児童受け入れを目指し、2017年4月時点で全国18ヶ所、児童数996名を受け入れました。また、第一生命財団を通じた遊具等の費用助成や社員のボランティア活動等、豊かな次世代社会の創造に寄与すべく取り組んでいます（156施設の助成を実施）。

平成29年11月7日

第一生命保険株式会社

代表取締役社長 稲垣 精二